

史料群番号 20

史料群名	しのづか こんえもん 篠塚権右衛門家文書		旧所蔵者	篠塚権右衛門
探訪時住所	茨城県鹿島郡波崎町			
現在の住所	茨城県神栖市			
探訪年月	昭和25（1950）年7月			
史料の年代	天明2（1782）年～昭和16（1941）年	史料の総点数	21点	
年代の内訳	近世 9点/近代 12点	筆写稿本	なし	
既刊行目録	「平成十八年三月 水産総合研究センター所蔵古文書目録-福島県・茨城県・栃木県・千葉県関係史料-水産総合研究センター・神奈川大学日本常民文化研究所」			

収蔵にいたる経緯

本史料群が探訪された際の書類には、文書の数量は「石油箱2点」と記されている。石油箱は石油缶2缶が入る木製の箱である。しかし、現在の同史料群の点数は21点で、それらはすべて帳簿であるとはいえ、石油箱2点に相当する分量にしては少ない。一方、本研究所には「篠塚家文書」として保管されている史料群があり、数量は137点である。内容をみると、「篠塚権右衛門」の名が随所に表れ、おそらく「篠塚権右衛門家文書」と「篠塚家文書」は元々一体だったと思われる。

史料群の概要

探訪地は、近世は東下（とうしも）村で、昭和3年に波崎町に含まれ、平成17年に神栖市の一部となった。

本史料群はすべて帳簿類によって占められ、地引網経営に関する帳簿3点をはじめ、近代の村政、家に関するものなど多岐にわたる。

なお、本史料群の詳細については「水産総合研究センター所蔵古文書目録」を参照していただきたい。

